

## 北アルプスの秘境へ ～黒部川支流 2泊3日の源流釣行～



### 【日程】

2024年9月14日～16日

### 【メンバー】

大貫（リーダー）、平江、寺尾、白井、塩塚、鈴木（記）

### 【前夜祭】

宇都宮から車で約5時間。北アルプスのとある温泉宿の駐車場に深夜0:30に到着。翌日は5:00に出発予定だが、それでも前夜祭は決行する。そして今回も酒に呑まれながら旅が始まる。



## 【1日目】

4:30 起床、勿論ほとんど寝ていない。タクシーが 5:00 に到着するも、他にもう一台。なんと別パーティーもタクシーで同じ目的地へ。しかも釣り目的で東京の山岳会とのこと。タクシーに乗り約 40 分で山小屋に到着。ここから林道を歩く。



荒れた林道の踏跡をたどりながら歩くと崩壊している場所が多くありペースが上がらない。すると、本流の河原を歩くルートを選択していた別パーティーに追い抜かれてしまう。

我々も林道の崩壊地点から、本流に降りて河原を歩くことに。途中から山に入り込み、尾根と沢をいくつも越えて目的地に向かう。



途中で舞茸を収穫したり、多少の道迷い等もありながら、出発から約 8 時間で目的のテン場に到着。しかし、先行していた別パーティーが既に目的のテン場を陣取っていたので、別のテン場を探す。

ここでアクシデント。白井さんが蜂に刺されてしまう。アナフィラキシーショックは、呼吸困難、血圧低下、心肺停止の症状が出て、ここでは対処できないと医師の寺尾さんが冗談交じりで白井さんに伝える。それを聞いて焦る白井さん、焦る白井さんを見て笑う寺尾さんという微笑ましい一幕もあったが、大事には至らなかったのが良かった。

その後、極上のテン場を開拓し、タープを張る。今回の高級ホテル外観。



早速、火を起こして乾杯！！この瞬間が最高だ。



それからテン場周りで釣りをする。良型が連発。4匹キープ。



夜は、いつも通り皆さん持ち寄りの料理で宴。



牛タン：白井さん



ポップコーン：鈴木



魚の捌き方を指導する寺尾さん



イワナのナメロウ：塩塚さん

そして今宵も源流カラオケ大会。ランナウェイを歌ったような、歌わなかったような・・・（笑）

## 【2日目】

朝ご飯は、前日に収穫した舞茸でまぜご飯。毎度、大貫さんの料理は絶品です。



食事後、5人で釣り上がる。先行者がいるが、水量も多いため魚の反応は良い。



流れが速く渡渉に苦勞する。鈴木は根掛かりしたルアーを回収しようと流水に足を入れた瞬間、足を取られ流される。10m位、転がりながら流されたところで岩に挟まり、なんとか脱出。危なかった。この沢は、ラバーソールと相性が悪く、その後も何度も転倒した。

昼前には、予報の通り雨が降り出したので、釣りは終了。テン場に戻り、酒を飲んだり、周辺で釣りをしたり。

タマズメ狙いで出かけるも、雨が土砂降りに。魚の反応はなく、水が増える前にテン場に戻る。

その後、雨は深夜まで降り続く。

### 【3日目】

5:30 起床、夜中雨で一度は増水したようだが、朝には水が引いていた。朝食を食べ、片付けして帰路へ。

帰りも尾根と沢を超える同じルート。道が分かっている分、気が楽。行きと違い、林道の悪路ではなく、快適な本流の河原を歩いて帰る。



堰堤を超える難所が一か所あったが、平坦で歩きやすい河原を歩き 15 時には山小屋に到着。山小屋前の広場でタクシーを呼び、待つ間に濡れたものを乾かしたり、お昼ご飯を食べたり。その後タクシーに乗って駐車場へ。

前夜祭も含めると 3 泊 4 日の長旅。今夏の良い思い出となりました。皆さんありがとうございました。